

福岡広域都市計画公園を追加する理由
(4・3・2001 春日西多目的広場公園)

福岡広域都市計画公園4・3・2001 春日西多目的広場公園は、本市西部のJR博多南駅周辺地域に位置し、付近は第一種中高層住居専用地域及び第一種住居地域が大部分を占めています。

同地域は、憩いの広場や避難所として、適切な都市公園の配置が必要な地域であり、街区公園は数箇所整備されていますが、地域全体では住区基幹公園が不足している状況です。

本公園は、「第2次春日市都市計画マスタープラン（令和3年9月策定）」や「第2次春日市緑の基本計画（令和3年9月策定）」において、「市民に身近なスポーツ・レクリエーションの拠点」や、「広域避難場所としての防災機能の維持・向上を図る施設」として位置付けています。

そのため、地域のコミュニティ活動、交流イベント及び子ども達のボール遊びなどが行えるように多目的広場を大きく設け、遊具、休憩施設及び樹木などを効果的に配置し、市民が集う多様な機能を有した都市計画公園（地区公園）とする必要があります。

本公園の南側に位置する既設の春日市西野球場は、災害時の広域避難場所としての機能を有しており、西野球場の北側市有地と一体的に整備することで、レクリエーションや健康増進の機能向上が図れ、近接する那珂川市との効率的な広域連携による交流イベントの増加等の効果が期待できます。

また、大規模災害時に仮設住宅等が建設可能な機能を確保することで、防災機能の維持・向上が図れます。

以上のことから、市民に身近なスポーツ・レクリエーション施設としての機能を拡充し、防災機能の維持・向上を図るため、新たな都市計画公園（地区公園）を整備するための都市計画決定を行うものです。